

第38回全日本少年サッカー大会東京都10ブロック予選要項

日程 平成2年4月20日～4月29日（予備日：5月3日）

会場 別紙参照

大会方式 1. 一次リーグ → 二次リーグ → 決勝トーナメントの形式で行う。参加43チームの内、前年度J A東京カップブロック大会ベスト4のチームを第1・2・3・4シードとし二次リーグから出場、ベスト5～8を第5シードとする。

一次リーグは第1～4シードを除く39チームで行い、**2～4組を4チームリーグ、1組と4～12組を3チームリーグ**とし、各組1位が二次リーグに進出する。二次リーグは第1～4シードを含む16チームで行い、A～D組を4チームリーグとし、各組上位2チーム（8チーム）が決勝トーナメントに進出する。

決勝トーナメントの1～3位を中央大会へ推薦する。ただし、推薦に値しないとブロック役員会で判断した場合は他のチームを推薦する場合がある。

2. 一次リーグ、二次リーグにおいては勝点制（勝ち＝3、引き分け＝1、負け＝0）とするが、同勝点の場合は、①得失点差 ②総得点 ③当該チームでの結果 ④大会中の警告、退場の少ない方 ⑤コイントスの順に順位付けをする。
3. 決勝トーナメントで同点の場合は、5人によるPK戦にて決定する。但し、決勝戦は前後半各5分の延長戦を行った上、同点の場合はPK戦にて決定する。

競技規則

1. 日本サッカー協会「2014年度競技規則」による。
2. 8人制による競技とする。試合ごとに登録選手から8名から16名以下をエントリーする。**（6年生主体で編成されたチーム）** 交替はハーフラインの副審がいないサイドに3mの交替ゾーンを設け、交替で入る選手が自ら交替する選手を呼び交替を行う（フットサル形式）。但し、GKの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得ておこなう。交替した選手の再出場は可能（自由交代制）。

競技者が退場処分を命じられた場合、競技者のチームは競技者を補充する。ピッチ上では常に8人いなければ参考試合となる。本大会で退場を命じられた場合、次の1試合に出場出来ない。参考試合は、相手チームに勝ち点3を与え、スコアは0-1とし勝点は-1とする。

3. キックオフゴールは認めない。キックオフのボールが直接ゴールに入った場合は守備側のゴールキックで再開する。
4. 試合時間は20-5-20分とする。
5. 試合球は4号球（各チームより抛出。空気圧0.8）を使用。スパイクは固定式に限る。すね当てを必ず着用すること。
6. コートの大きさは、縦68m、横50mを基本とする。ただし、ゴール固定の会場については、出来る限りこの大きさにすることを望むが、やむをえない場合は、各会場の責任者に一任する。

審判

1. 各チームから2名、合計4名で構成。審判服、審判章を必ず着用すること。**チームで責任の持てる審判員を派遣のこと。** 審判証を本部に提示すること。
2. 一次リーグ、二次リーグにおいては、別紙割り当て表のとおりとする。
3. 決勝トーナメントにおいては、組み合わせ表の通りとする。但し、準決勝、3決、決勝は可能な限り審判部及び本部でおこなうが、当日いるチームに依頼することもある。

注意事項

1. 悪天候による中止等は、当日の**第1試合開始2時間30分前までに決定する。**
2. 会場準備は、会場責任チームが中心となり、第1試合、第2試合のチームから各2名以上の協力によりおこなう。遅くとも第1試合開始1時間前には集合のこと。
3. メンバー表は試合開始30分前までに2枚を本部に提出すること。（連続で試合を消化する場合は、速やかに提出）選手証も併せて提出のこと。**ユニフォーム正副を持参する事。**
4. メンバーチェックは、試合開始10分前に本部前にて**エントリーされた選手全員**で行う。
5. **ユニフォームは色の異なる正副2着（正副で番号が違うものは可）を必ず用意すること。なお、第一試合の際に上記の件が守られていない場合は、失格とする場合がある。**
6. 試合の際、ベンチには監督1、コーチ2の3名とその試合のエントリーした選手だけが入る。先発以外の選手はユニフォーム姿のままでベンチに座らないこと。エントリー以外の選手は、ベンチ脇のエントリーした選手から離れた所でユニフォーム以外の姿で応援できる。ただし、その他の対象学年はその限りではない。**（指導者は最低2名入らなければならない）**

7. 応援は本部にて決められた場所にておこなうこと。
8. 各会場の注意事項をしっかり把握すること。特に駐車制限台数、スペースを守り（路上駐車厳禁）、必ず「駐車票」を掲示すること。違反した場合当大会の失格や、今年度及び来年度の各大会の会場に駐車することを禁止する場合があります。
9. 片付けは、最終試合の2チームが本部の指示に従いおこなうこと。

検討事項

当大会のベスト8は、さわやか杯のシードにする。